

ADATARA

NEWS
Letter

二本松青年海外協力隊訓練所



TOPICS

「地域の魅力を訓練生が発信!」～フィールドワーク～

JICA海外協力隊帰国隊員レポート

「帰国後も続くガーナとの繋がり」<sup>2017年度
1次隊</sup>上野 真理恵さん (学校保健) ガーナ共和国

「出発の意気込みと帰国の報告」

2019年度1次隊の6名と帰国した2017年度1次隊の2名が福島県庁に表敬訪問を行った。写真:星明彦

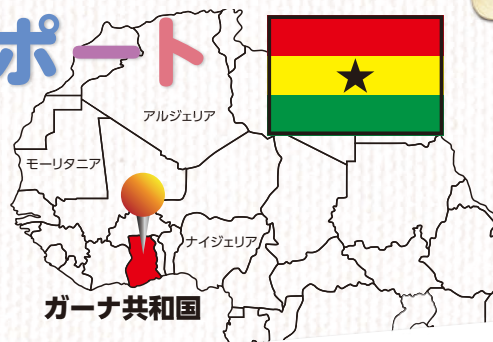
左から

佐藤友美(須賀川市) 湯田しおり(福島市) 大西諒(喜多方市) 阿部祐太郎(いわき市) 古内彰(福島市) 大友裕子(いわき市) 伊藤沙英美(郡山市) 上野真理恵(福島市) 敬称略()内出身市

JICA海外協力隊 帰国隊員レポート



帰国後も続くガーナとの繋がり



うえの まりえ
上野 真理恵さん

2017年度1次隊
派遣国：ガーナ共和国
職種：学校保健

空港でお別れのとき

西アフリカに位置し、赤道直下で一年中暑い国・ガーナ。お馴染みGHANAチョコのカカオがとれる国であり、福島県猪苗代町出身の野口英世博士が黄熱病の研究に尽力した国としても知られています。

私は、教育事務所の学校保健担当職員と一緒に学校保健活動の推進に取り組みました。日本では、保健の先生がいて、健康診断や救急処置をする環境が当たり前…でも、ガーナは、ちがう。人的・物的資源が不足しているガーナで本当に必要なことは何なのか？悩みながら学校や地域を回りました。そこで見てきたのは、健康知識を学ぶ機会が不十分であること、また、ケガを間違った応急処置で悪化させてしまっているということです。そこで、日常的な健康教育を増やすために、ガーナ人の大好きな歌を活用し、住民と「学べる健康歌」作りに取り組みました。出来上がった8曲は製本し、各学校に配りながら現地の教員と一緒に指導を行うとともに、同僚とラジオで紹介し家庭への普及を図りました。また、応急処置は、看護師とマニュアルを作成し、教員養成校生徒や教員向け講習会を開催し、限られた物資の中でできる正しい応急処置の習得を目指しました。これらは、学校保健活動のほんの一部ですが、今後ガーナに合わせた学校保健がさらに充実していくことを願っています。

帰国後は、福島県内の学校に保健の先生として復帰しました。また、ガーナ赴任直後にマイノリティとして心細さを感じた時も、優しくあたたかく包み込んでくれたガーナ人に恩返しをしたいという思いから、猪苗代町でガーナホストタウン事業をお手伝いしています。今年の夏には、在日ガーナ人向け猪苗代町ツアーが開催され、駐日ガーナ大使を含む20名程度が、花火大会で日本の伝統的な風物詩に触れたり、野口英世記念館で博士の生涯を学んだり、町民との交流を図りました。私は案内役として参加し、現地語で「ようこそ!」と挨拶すると、ガーナ人はとても喜んでくれ、人と人が出逢って交流することがおもてなしのひとつの大切な要素であると実感しました。東京オリンピック・パラリンピックに向け、協力隊経験者としてできることに取り組み、これからもガーナと繋がっていきたいです。



理科・算数・図工の教科でコラボレーション!
教員養成校で行ったワークショップ



健康歌を授業で歌う児童



野口英世記念館で
在日ガーナ人ツアー参加者と記念撮影



猪苗代花火大会での駐日ガーナ大使挨拶。
通訳として参加しました。

地域の魅力を訓練生が発信! ～フィールドワーク～

JICA二本松訓練所にて実施している70日間のJICA海外協力隊派遣前訓練では、語学学習に加え、任国で必要となる知識や技術、またJICA海外協力隊としての心構えを学ぶ多くの講座を実施しています。その中の1つに「フィールドワーク」があります。



Q フィールドワークって何してるの?

A フィールドワークの目的は「情報の収集と発信」です。JICA海外協力隊として開発途上国で2年間の活動するにあたり、最初に必要になるのが、自身が生活する地域を知る事です。地域の特性や人々の気質、生活習慣を理解して初めて“異国”での活動を円滑に進める事が出来ます。このフィールドワークでは二本松市の街を実際に歩き、街の魅力を調査することで「情報収集力」を養います。また実際に自分の足で調査し収集した情報をもとに、グループごとにPR動画やMAP、チラシ等を作成します。ここで「誰に」「どのような形で」「発信する」ことを考えることで、情報の発信の仕方についても学ぶことができます。

地域活性化への貢献

JICA二本松訓練所には、北は北海道、南は沖縄まで、日本全国から訓練生が集います。言わば全国各地から二本松市に集まった「よそもの」です。このフィールドワークは「よそもの」の視点で二本松市の魅力を発見し発信します。この「よそもの」の発信が、二本松市の地域活性化の一助となることを願っています。



フィールドワークで作成された
二本松のお菓子の紹介チラシ





JICA海外協力隊

※①派遣国 ②職種 ③出身地



日系社会青年海外協力隊
おおにし りょう
大西 諒さん
①ブラジル
②小学校教育
③喜多方市



青年海外協力隊
ふるうち あきら
古内 彰さん
①ジンバブエ
②柔道
③福島市



青年海外協力隊
ゆだ しおりさん
湯田 しおりさん
①ミャンマー
②数学教育
③福島市



青年海外協力隊
いとう さえみ
伊藤 沙英美さん
①ポリビア
②土木
③郡山市



青年海外協力隊
あべ ゆうたろう
安部 裕太郎さん
①ベナン
②小学校教育
③いわき市



青年海外協力隊
おおとも ひろこ
大友 裕子さん
①セネガル
②助産師
③いわき市



現在も福島県出身者31名が 世界23カ国で活躍中



2019年6月30日現在 合計派遣中:31名 累計:783名

青年海外協力隊				シニア海外協力隊			
派遣中	26	累計	713	派遣中	5	累計	54
日系社会青年海外協力隊				日系社会シニア海外協力隊			
派遣中	0	累計	10	派遣中	0	累計	6

悩みはすべてここで解決! /



なんでも 相談窓口



JICA二本松訓練所のホームページでは、JICA海外協力隊に関することをなんでも相談できます! JICA海外協力隊の(応募・選考、職種選び、派遣前訓練、現地のサポート、健康面、語学etc.)に関する、共催イベント、JICA二本松施設訪問、講師派遣依頼など、どんな些細なことでも担当スタッフが丁寧に対応致します!

ぜひ一度ご相談ください!

JICA二本松 なんでも相談窓口



公式SNSラジオ番組のご案内



公式 Facebook

日々さまざまな情報を更新中!



ON AIR

ラジオ番組

FM Mot.Com
「世界も、自分も、変えるラジオ」

二本松訓練所の訓練生が作る番組です。

熱い思いが詰まった60分!
第2木曜 / 13:00~14:00
(再放送)
第3木曜 / 13:00~14:00



外国人のための生活相談窓口

福島県国際交流協会では、外国語で外国人からの生活相談に応じています。

TEL:024-524-1316

MAIL:ask@worldvillage.org(相談専用)

(公財)福島県国際交流協会

Fukushima International Association

発行元

独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局

二本松青年海外協力隊訓練所

〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2

Tel:0243-24-3200 Fax:0243-24-3214